

平成28補助年度 補助系統別事業評価票(横須賀(A)線)

1.補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
横須賀(A)	知多乗合(株)	知多乗合(株)	大府駅前・尾張横須賀駅	8.2km	12.4回	大府市・東海市
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

<p>接続の状況(△□)</p> <p><接続する系統> 東海旅客鉄道東海道本線・武豊線 名古屋鉄道常滑線 名古屋鉄道河和線</p> <p><接続される系統> 知多乗合大府線 東海市循環バス</p>	<p>模式図</p> <p>(△□)</p>
---	------------------------

2.H28年度の運行状況

<p>計画どおり運行されたか(△)</p> <p>評価 計画どおりか。そうでない場合は理由</p>	<p>評価の基準</p> <p>A → 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合</p> <p>B → 車両故障等運行事業者の責に帰すべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合</p> <p>C → 系統廃止に至る場合</p>	<p>(参考数値) 主要指標の推移(△)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>61,134</td> <td>59,596</td> <td>53,966</td> <td>79,800</td> <td>72,084</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>3.8</td> <td>3.5</td> <td>4.0</td> <td>3.8</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>47.1</td> <td>43.4</td> <td>49.6</td> <td>47.1</td> <td>39.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	利用者数(人)	61,134	59,596	53,966	79,800	72,084	平均乗車密度	3.8	3.5	4.0	3.8	3.2	輸送量	47.1	43.4	49.6	47.1	39.6
年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																					
利用者数(人)	61,134	59,596	53,966	79,800	72,084																					
平均乗車密度	3.8	3.5	4.0	3.8	3.2																					
輸送量	47.1	43.4	49.6	47.1	39.6																					

目標・効果達成状況				
評価	目標の達成状況(△)	運営主体の所見、理由分析、認識(△)	市町村の所見、理由分析、認識(□)	
	目標	58,859	目標を達成することはできたものの、前年比は90.3%で旅客減の傾向がみられる。	市町村名: 大府市 本市循環バスの東、北、南、中央コースが大府駅東側にアクセスしており、西側へ渡ること東海市へ乗り継ぐことができる。名鉄、JR間の相互利用や大府高校、横須賀高校への利用もあるため、ある程度の利用数は確保できていると考えられる。
	結果	72,084		
A	特記事項			
評価の基準		市町村の所見、理由分析、認識(□)	市町村の所見、理由分析、認識(□)	
A → 年間目標利用者数を達成できた場合		市町村名: 東海市	市町村名:	
B → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の半数以上の利用があった場合		年間目標利用者数を達成したものの、前年利用者数からの減少が見られ、改善が必要である。		
C → 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合				

複数市町村を跨ぐ系統としての役割				
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(運営主体)(△)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)
市町村を跨ぐ利用者数(△)	2,200人/月	市境をまたぐ利用がおよそ4割あり、広域的な路線の役割をはたしている。	市町村名: 東海市	市町村名: 大府市
全利用者に占める率(△)	38%	知多バス上野台線とともに、東海市と大府市を結ぶ貴重な公共交通手段の一翼を担っており、通勤・通学利用が多い。	私鉄間利用及び学校間利用において、通勤・通学利用が多く、市間を繋ぐ広域的な路線の役割を果たしている。	市町村名:
特記事項				

(参考数値・情報) その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村(沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載)(□)
大府駅前: およそ150人/日 尾張横須賀駅: およそ50人/日 市町境の断面輸送量は上記のとおり	名古屋鉄道尾張横須賀駅利用者数(H26年度): 5,234/日 名古屋鉄道高横須賀駅利用者数(H26年度): 2,672/日 東海市循環バス中ルート高横須賀駅前: およそ6人/日 東海市循環バス南ルート尾張横須賀駅前: およそ18人/日 JR東海旅客鉄道大府駅乗車人数(H26年度): 13,300人/日 大府市循環バス東コース大府駅東: およそ22人/日 大府市循環バス北コース大府駅東: およそ12人/日 大府市循環バス南コース大府駅東: およそ9人/日 大府市循環バス中央コース大府駅東: およそ23人/日

